

モルティエ 各工程 注意事項

② 下塗り

モルティエ ホワイトシーラーを良く攪拌してから刷毛やローラーで塗布してください。

乾燥時間は、約6~12時間となります。

※ラワン合板や針葉樹合板、MDFはアク止め処理をしてもアクが浮いてくる恐れがありますので、下地として使用する際は十分考慮下さい。

③ モルティエの攪拌

基材とアクリルポリマーを混ぜ合わせる前に、どちらもしっかりと攪拌してから混合してください。特にグレー系は顔料がダマになりやすいのでご注意ください。

別容器に液体のアクリルポリマーを入れてから粉体の基材を入れて攪拌してください

配合比は重量比で100：60~65(例：基材8kgに対してポリマー5kg)となりますが、施工中の気温や顔料の比重により多少樹脂の配分が変わりますので、最初に練る際はポリマーの量を少し減らして、粘度を調整してポリマーを加えてください。

※攪拌後から約1時間~2時間以内に塗ってください。

※材料が締まってきたら再度攪拌してください。

※1層目分や必要分だけ少しずつ攪拌することをお奨めします。

④ モルティエ コテ塗り1回目

モルティエ ホワイトシーラーが完全に乾燥してから1回目を塗っていきます。

薄いコテで0.3mm~0.5mmの厚さで、擦りながら平滑に塗り下地をつくります。

乾燥時間：約8~12時間

⑤ モルティエ コテ塗り2回目

1回目が完全に乾いてから、薄くテクスチャーを付けながら2回目を塗ります。テクスチャーの模様がそのまま陰影となりますので、なるべく一定方向に揃わないように小さなコテでランダムに動かして模様を付けます。厚く塗り過ぎないようにご注意ください。

乾燥時間：約1~4時間

※陰影やテクスチャーを少なくしたい場合は模様を余りつけずに塗ってください。

※気候により乾燥時間は変化してきますので注意して下さい。

⑥ モルティエ コテ塗り3回目

2回目が半分ほど乾いたタイミングで2回目のテクスチャーがかぶる程度薄く3回目を塗ります。余分な材料は削いで塗り過ぎに注意ください。

3回目から約5~10分程度で石を伏せ込むように軽く圧をかけて押さえていきます。乾燥経過を見ながらコテをランダムに動かして磨いてください。最後に表面が半乾きになったタイミングで強くコテで押さえて磨きます。

※3回目追っかけ塗りは、通常よりもポリマーを増やして材料を柔らかくした方が抑えやすくなります。

※半乾きの時点で表面が滑らかにならず、押さえが出来ていない場合は、押さえを中断して

3回目がある程度乾いてから4回目を塗ってください。

※気候により乾燥時間は変化してきますのでご注意ください。

⑦ モルティエ ペーパーサンダ磨き

モルティエを塗り終わり、12時間から24時間経過して完全に乾燥してからペーパーサンダーで陰影と光沢感を出すように磨いていきます。力が均等に入りやすいポリッシュサンダを使用し、サンダが入らない隅の部分は四角いペーパーサンダをご使用ください。ペーパーサンダーは100番～120番程度がお奨めです。

⑧ 水拭き

ペーパーサンダで磨き終わったら、削り粉を掃除機やウエスで取り除き、濡れたウエスや雑巾で水拭きして、綺麗なウエスで拭き取り完全にモルティエを乾かしてください。

同作業は白華現象を抑える為にも必ず行ってください。

⑨ ⑩ トップコート用シーラー 1～2回塗り

水拭きが完全に乾いてから、ブッシュポール(吸水防止剤)を塗っていきます。

柔らかいスポンジかウエスなどで中までよく浸透するように塗っていきます。

1回目は清水で30%希釈して、薄くコテ刷毛やスポンジなどで塗っていきます。1回目のブッシュポールは吸い込みにより色ムラになりやすいため、液だれが起きないようにご注意ください。塗り広めてください。

1回目のブッシュポールが完全に乾燥したら、2回目は清水で10%希釈して、同様にコテ刷毛やスポンジなどで塗ってください。吸い込みが完全に止まるように小口まできちんと塗ってください。

⑪ ⑫ トップコート 1～2回塗り

ブッシュポールが完全に乾燥後にヴェルニシールを塗っていきます。

ヴェルニシールは、主剤と硬化剤を混ぜて良く攪拌してから、短毛ローラーやスポンジなどで塗ってください。

配合比は、主剤：硬化剤 = 11.5 : 1(例：主剤920mlに対して80ml硬化剤を使用)

※一度、混ぜたものは約1時間以内に使用してください。

※ヴェルニシールの液体は空気に触れると固まる性質がありますので、保管する場合は容器を完全に密閉して空気が全く入らない状態にしてください。

◆施工に関して

- ・施工前に試し塗りをし、パターンを確認してください。
- ・施工時から完全に乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には、クラックなどの原因になります。
- ・施工方法の文中の説明は、気温20℃の場合の乾燥時間の目安です。
- ・天候や気温・湿度によって乾燥時間は異なります。
- ・乾燥を急ぐ際の器具等を使っての急激な乾燥は、ひび割れの原因になりますので十分ご注意ください。
- ・各作業は、必ず前工程の乾燥後に行ってください。
- ・施工時に気温が氷点下になり凍結した場合は変色する恐れがあります。
- ・養生は施工後できるだけ早く除去してください。

◆安全に関して

施工場所をよく換気してください。

- ・誤って目や口に入ってしまった場合は、清潔な水で洗い流すなどしてから医師の診断を受けてください。
- ・施工後は手洗い、うがいを行ってください。

モルティエ 工程表

下地:シナ合板、石膏ボード、コンクリート

施工場所:屋内壁面、テーブルトップ、洗面台、バスルームなど

工程	使用材料	配合	乾燥時間	注意点	
1	素地調整	下地の凹凸や段差がないようにパテ処理やシーリングで素地を整えてください。		※下地がラワン合板や針葉樹合板、MDF、ビニールクロスの場合は、下地の状態を入念に確認し、水回りに使用する際は十分注意ください。	
2	下塗り	モルティエ ホワイトシーラー	清水(0~3%)	約6時間以上	※水性塗料刷毛やウールローラーにて素地が見えないようにしっかり塗布ください
3	攪拌	モルティエ 基材・アクリルポリマー	基材:ポリマー = 100:60~65		※電動攪拌機でダマが残らないようにしっかり攪拌してください。 ※攪拌後は約1時間から2時間以内に使い切ってください。
4	コテ塗り 1回目	モルティエ 練った状態	厚さ:0.3~0.5mm	約8~12時間	※擦るように薄く塗り広げ、塗布量を均一にして下地を作ります。
5	コテ塗り 2回目	モルティエ 練った状態	厚さ:0.3~0.5mm	約2~4時間	※1回目が完全に乾いてから、薄くテクスチャーを付けながら2回目を塗ります。テクスチャーの模様がそのまま陰影となりますので、小さなコテでランダムに動かして模様を付けます。厚く塗り過ぎないように注意ください。
6	コテ塗り 3回目	モルティエ 練った状態	厚さ:0.3~0.5mm	約12~24時間	※2回目が半分ほど乾いたタイミングで追っかけて薄く3回目を塗ります。余分な材料は削いで塗り過ぎに注意ください。 ※3回目から約5~10分程度で石を伏せ込むように圧をかけて押さえていきます。乾燥経過を見ながらコテをランダムに動かして磨いてください。最後に表面が半乾きになったタイミングで強くコテで押さえて磨きます。
7	研磨	RYOUBI サンダポリッシャ	ペーパー番体: #100~#120		※モルティエを塗布後、約12~24時間経過して完全乾燥してからサンダで磨いてください。陰影が浮き出て表面がツルツルになるまで磨いてください。
8	水拭き	濡れたウエスや雑巾			※サンダで磨き終わってから、削り粉を掃除機やウエスで取り除き、濡れたウエスや雑巾で水拭きしてください。白華現象を抑える為、必ず水拭きしてください
9	シーラー 1回目	ブッシュポール 吸水防止剤	清水で3割希釈	約4時間以上	※水拭きから完全に乾いてから塗布してください。 ※水で3割希釈してスポンジやコテ刷毛で浸透するように塗布ください。
10	シーラー 2回目	ブッシュポール 吸水防止剤	清水で1割希釈	約4時間以上	※水拭きから完全に乾いてから塗布してください。 ※2回目は水で1割希釈してスポンジやコテ刷毛で浸透するように塗布ください。
11	トップコート 1回目	ヴェルニシール アクリルトップコート	主剤:硬化剤 = 11.5:1	約4時間以上	※ブッシュポールが完全に乾いてから塗布してください。 ※主剤と硬化剤を混ぜて良く攪拌してから短毛ローラーかスポンジで塗布ください。 ※一度混ぜたものは約1時間以内に使用してください、
12	トップコート 2回目	ヴェルニシール アクリルトップコート	主剤:硬化剤 = 11.5:1	約48時間以上	※1回目が完全に乾いてから塗布してください。 ※主剤と硬化剤を混ぜて良く攪拌してから短毛ローラーかスポンジで塗布ください。 ※一度混ぜたものは約1時間以内に使用してください、

モルティエ 施工仕様書

モルティエ ～セメント系ハイブリッド型モルタル調左官材～

モルティエは、僅か1mm程度の薄さでありながら、テーブルトップやカウンタートップ、洗面台、バスルームの壁面などに使用できる高耐久性のあるセメント系左官材料です。セメントや大理石粉の基材と耐水性・耐久性に優れたアクリルポリマーの組み合わせ、コンクリート用トップコートによる強靱な塗膜性能によって、従来のモルタル磨きでは克服できなかった「クラック」、「耐水性」、「耐久性」を実現しました。

また、ヨーロッパの各メーカーで販売されているセメント系ハイブリッド左官材と比べ、色の調合や樹脂の調合、可使時間の短さなどの作業性も工夫を凝らし大幅に改善されています。但し、他のセメント系ハイブリッド左官材料と同様に施工の難易度は高く、下地の作り方、コテで抑えるタイミングなど非常にデリケートであり、同じクオリティーの仕上げにするには十分な練習が必要となります。

材料の種類

商品名：モルティエ ホワイトシーラー

種類：下塗り材(シーラー)

塗布面積：1kg = 約10平米/1回塗り

備考：合板・ボード・クロス対応のアクリル系シーラーです。ヤニ止め性とシミ止め性に優れています。

商品名：モルティエ 各色セット※配合比 基材：アクリルポリマー = 100 : 60～65

種類：左官材

塗布面積：1kg = 約1.5平米/3回塗り

備考：標準塗り回数は2回塗りです。下地の状態や1層目の凹凸具合によっては3回塗りが必要になります。

商品名：RYOUBI サンダポリッシャ RSE-1250

種類：ペーパーサンダー

塗布面積：推奨番体・#100～#120

備考：モルティエが完全乾燥してからサンダーで磨きます。ポリッシャで入らない角部分は四角いペーパーサンダーをご使用ください。

商品名：ブッシュポール(吸水防止シーラー)

種類：トップコート用シーラー

塗布面積：1L = 約10平米/2回塗り

備考：モルティエのサンダー磨き後に必ず2回塗布してください。

商品名：ヴェルニシール水性(アクリルトップコート)

種類：2液型水系トップコート

塗布面積：1L = 約15平米/2回塗り

備考：ブッシュポールで吸い込みが完全に止まっているのを確認してから上塗りしてください。